

解答

一

- (1) 地域 (2) 温「かい」 (3) 公正 (4) 招待券 (5) 推測

二

- (1) 猫 (2) 腕 (3) 千里 (4) 延長 (5) 大敵

三

問一 エ

問二 ウ

問三 一握りの要因

問四 青年のころに実感した、世の中のほぼすべての事柄は厳密に考えれば何もわからないということ。

問五 きみがどうくということ

問六 ア

自分の本質を決定して行為やあり方を固定してしまうと、いままでの自分を断ち切った新しい可能性のある人生を選ぶことができなくなるから。

問七

問八 ウ 経済的に独立し、自分に居心地のいい人間関係を自力で開拓すること。

四

問一 頑固（で、）根気（がある様子。）

問二 ア

問三 ウ、エ

問四 俊介に手伝ってもらっているうえに、まだ誰かに助けてもらうのは、部長としてふがいないと感じたら。

問五 喜ばしい

問六 ジローがいれば、重たい空気の中でも盛り上がりたて楽しくできるし、みんながほっとするはずだから。

問七 小学校の時は仲間と笑って遊んでいれば楽しかったが、大きくなると苦勞して得られる楽しさの度合いが大きく、もっと深い楽しさがわかるようになった。

問八 ウ

問九 エ

解説

三

問一 ——線①の直前に「大人になるとはすなわち感受性も思考も凝り固まっていくことである。」と述べられているので、「決まりきった考え方」という記述を含む選択肢エが最も適切です。

問二 「こうした大枠のもと、」以降に二つの要件の説明があります。「一つは、経済的に独立すること。」の部分と、

問三 「すなわち、自分に居心地のいい」で始まる一文の内容を説明します。

四

問七 ——線⑦を含む段落に着目し、小学校の時の楽しさと、大きくなってから感じる楽しさとの違いを指摘しながらわかりやすく説明します。

問八 六人がそろって野外走をしている中で、設楽が「これで県大会も狙えるね」と珍しく強気なことを言うのを

問九 聞き、しっかりとうなずいたことから、選択肢エが最も適切であることがわかります。